

# 2022年度事業・活動報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

## 《8つの柱の活動・事業の振り返り(まとめ)》

### 第1の柱 — 会員組織の拡大と会員活動を活発に

1. ボランティア説明会を定期的を開催し、協力会員の増加につなかりました。

(1) 協力会員については年間20人の入会を目指しましたが、今年度は16人の入会となりましたがボランティア説明会を毎月開催し一定の成果がありました。新入協力会員の約半数が移動サービスボランティアに参加しています。

(2) 利用会員は20人の入会があり、少しずつ地域の困りごとに対応できるような活動を目指しました。

(3) 入会実績

No.	種別	2021年度 入会数	2022年度 入会数	2021年度 期末在籍数	2022年度 期末在籍数
1	ふれあい会員(利用会員)	11	20	183	174
2	正会員(協力会員)	16	16	106	110
3	賛助会員	0	0	17	16
4	合計	27	36	306	300

2. コロナ禍のため2年間できなかった会員活動を企画し会員参加の機会を作ることができました。

(1) コロナ禍で開催できなかった多世代交流イベントや地域の交流のための活動を企画し、例年恒例だった誕生会・ふれあい敬老会・新年会・バスを利用したお出かけも行うことができ会員の親睦を図ることができました。

(2) 会員の皆さんが楽しみにしてくださっている誕生会は、コロナ感染の収束の兆しが見え始めた9月から2か月に一回開催できました。

(3) ふれあい敬老会やバスを利用したお出かけも再開でき会員の親睦を図ることができました。

(4) 新年会は今年から協力会員対象とし、入会1ヵ月の新入会員から10年以上のベテラン会員の交流の機会となりました。

### 3. 当会の活動に対して読売新聞の「第20回読売福祉文化賞」を受賞することができました。

- (1)長年の有償ボランティア活動と支えあいとたすけあいを広げる社会活動に対して評価されたものです。
- (2)歴史ある読売福祉文化賞の“高齢者福祉部門”で新しい時代にふさわしい福祉活動の実践を顕彰されたことは今年25年目を迎える当会にとって大変光栄なことです。

## 第2の柱 - たすけあい活動、運営への会員参加

### 1. ふれあいサービスは移動サービスを中心に、利用者・協力者・活動時間ともに増加し会員の困りごとにお応えすることができました。

- (1)ふれあいサービスは利用人数は前年比111%となっております。
- (2)デイサービスの送迎は設立から2年間、移動サービスボランティアの協力によりスムーズにおこなえておりましたが、デイサービスの事業体制変更に伴い職員の送迎・添乗に変更となりました。
- (3)移動サービスのうち定年を迎えた会員が新しい分野の活動へ参画することができましたが、ごく一部に限られ今後の活動の場を提案する必要があり課題を残しています。

#### (4)ふれあいサービス

種類		2021実績	2022実績	前年対比
利用者数 (人)	移動サービス	532	591	111%
	生活援助サービス	112	126	113%
	合計	644	717	111%
協力者数 (人)	移動サービス	176	238	135%
	生活援助サービス	89	99	111%
	合計	265	337	127%
時間数	移動サービス	2298	2496	108%
	生活援助サービス	296	326	110%
	合計	2594	2822	108%

## 第3の柱 - 制度サービス(在宅)は包括的視点の強化

- (1) **居宅介護支援**—在籍ケアマネジャーは通年5人体制での活動となり、ケアマネ6人体制とはなりませんでしたが、担当件数は174件で微増です。うち予防支援は3割を超えています。週1回の連絡調整会議をもち事業所内の情報共有ができました。
- (2) **訪問介護**—月200時間の提供を目標に活動しましたが、月平均144時間にとどまりました。現有資格者から少ない時間でも活動できるヘルパーに依頼するなど工夫して取り組みました。月1回研修会も定期的開催し、ヘルパー同士の意見交換などができました
- (3) **(障害福祉)計画相談支援**—担当者数を適正規模に抑えて現状維持を目指しました。

(制度サービス)通所を除く

種別	提供時間数			利用人数		
	2021実績	2022実績	前年対比	2021実績	2022実績	前年対比
居宅介護支援				1717	1805	105%
訪問介護	1693	1738	102%	302	293	97%
相談支援				411	358	88%
合計	1693	1738	102%	2430	2456	101%

## 第4の柱 — みんなんちは地域交流の拠点に

### 1. みんなんち

- (1) コロナ禍でしたが 2022 年度は 1 年を通じみんなんちを開催することができました。コロナ感染対策を引き続き徹底し、定員を設け完全予約制として運営しました。
- (2) 新講座・新企画の実施はできませんでした。
- (3) 9 月まで月 3 回木曜日に開催していた健康麻雀が、第 2 火曜日の午前 1 回に変わりました。
- (4) 9 月から 2 か月に一度お誕生日会を開催することができました。

#### 講座活動

No.	項目	参加人数
1	うたごえ(月1回)	21
2	ピアノで歌おう(月1回)	90
3	手芸(月1回)	55
4	オカリナ(月1回)	94
5	絵手紙(月1回)	78
6	映画鑑賞(月1回)	32
7	カンタン！スマホ教室(月1回)	40
8	健康麻雀(月1回)	50
	合計	460

※健康麻雀 4～9月まで月 3 回  
10 月から月 1 回に変更

※お誕生会: 9 月・11 月・1 月・3 月 出席者 28 人

※映画鑑賞: 4 月～8 月まで毎月 1 回 10 月から偶数月に開催

4 月 たそがれ清兵衛 5 月 テルマエ・ロマエ 6 月 麗しのサブリナ 7 月 幕末太陽傳

8 月 シェーン 10 月 シコふんじゃった 12 月 パッチ・アダムス 2 月 男はつらいよ 寅次郎の告白

### 2. 暮らしの保健室

- (1) 毎月第 4 木曜日を「まつど暮らしの保健室」オープンデイとして、カラダのこと個別相談と認知症家族サポートサロンを開催しましたが、デイサービスるんるんの木曜日営業のため 11 月から休止となりました。

### 3. 地域交流イベント「みんなんち広場」・多世代交流「えがお集まるみんなんち」

- (1) 昨年好評だった「第 2 回みんなんち広場」～歌声コンサートとみんなんちマルシェ～を 7/17 に開催できました。地域の福祉団体や地域包括・キッチンカーにも協力いただいていたくさんの方と交流することができました。
- (2) 小金原子ども食堂さんと協働による「えがお集まるみんなんちクリスマス会」は 12/4 に予定し、プロジェクトチームにて準備を重ねておりましたが、直前に担当スタッフがコロナ感染のため中止となりました。

## 第5の柱 — デイサービスるるんの活動を充実させます

### 1. デイサービスるるんオープンから3年目となり、様々な問題点を整理し今後の事業拡大のために体制の見直しを行いました。

- (1) 通所事業所専任の管理者をおきデイサービスに関するすべて業務の一本化をおこない、介護事業として必要な運営計画を立て安定した事業の拡大をめざすこととしました。
- (2) 業務内容の改善: 送迎体制の見直し(専属ドライバー契約)・プログラムの充実・施設内環境整備・タイムテーブルの変更・木曜日の営業等
- (3) 勤務体制の確立: 就業時間の変更・職員報酬アップ(時給)・スタッフの安定勤務
- (4) 収益の明確化: 月別売り上げの把握と管理・経費の明確化と削減・収益の数値化・売り上げ目標の設定
- (5) 職員の意識改革: 利用者様への接遇・情報把握・安全と健康管理・責任所在の明確化
- (6) 上記の体制で運営予定しておりましたが、常勤職員の退職等があり運営計画が4か月遅れとなりました。

#### 月別利用者数

	営業日	利用者延べ人数	1日当たりの利用者数
4月	18	176	9.7
5月	17	188	11.0
6月	17	184	10.8
7月	18	191	10.6
8月	18	179	9.9
9月	17	179	10.5
10月	18	186	10.3
11月	17	166	9.7
12月	16	155	9.6
1月	20	141	7.0
2月	20	149	7.5
3月	23	175	7.6
合計	219	2069	9.4

## 第6の柱 -教育・研修活動の充実強化を図ります

### 1. 福祉有償運送運転者講習会を4回開催しました。

- (1) 市民を対象に、地域活動担い手研修会(移動サービス・福祉有償運送運転者研修)を4回開催しました。今年度から毎回1日研修としました。37人養成しました。うち11人は会員です。
- (2) 松戸市福祉有償運送運営協議会の役員として、福祉有償運送事業に協力できました。

### 2. 会員を対象に移動サービス運転者研修会を2回開催しました

- (1) 今年度1回目は7/10に最新の道路交通法についての講義とドライバー同志のグループワークを行い意見交換することができました。2回目は11/20に路上での運転チェックと高齢者疑似体験を行いました。

## 第7の柱 -東日本大震災支援活動

### 1. 被災者が主体となったサロンの運営が軌道に(宮城県東松島市)

- (1) 宮城県東松島市被災者支援・交流活動として、牛網地区においてコミュニティサロン「東松島みんなんちクラブ」にて、サロン、百歳体操や裂き織り教室、を毎月開催(延べ836人参加)、地域コミュニティ再生に役立つ活動になっています。ふれあいネットまつどからは、運営の協力としてチラシ作成等行いました。
- (2) コロナ感染状況が少し落ち着いた9月末に事務局から訪問することができました。当日は月1回の“コミュニティサロンみんなんち”の日で健康体操やお茶会で楽しんでいる状況を視察し交流することができました。
- (3) 第2回みんなんちマルシェ(7/17)にて、東松島から手作りの粘土小物を出品販売していただきました。
- (4) コロナ禍が収束したらふれあいネットまつど会員と市民との交流できないかと模索しましたができませんでした。

### 2. 多彩な「東松島みんなんちクラブ」の活動

みんなんちクラブ(サロン活動(毎月第4金曜日))	11回	141名
みんなんちピンポンクラブ(隔週月曜日)	20回	115名
東松島100歳体操(毎週火曜日)	44回	490名
料理教室(不定期)	4回	35名
裂き織(月1回)	11回	55名
延べ参加人数		836名

---

## 第8の柱 役員体制・事務局機能の強化と財政基盤の確立

### 1. ふれあいネットまつどに他団体からの視察が相次ぐ

(1) 9月には千葉県木更津市から木更津社協とボランティアサークル畑沢さつき会がみんなんち活動の視察に。同月には茨城県神栖市の NPO シニアネットワークかみすが来訪し有償ボランティアの仕組みや移動サービスについての意見交換をしました。

1月には全国住民参加型在宅福祉サービス連絡協議会から介護予防・日常生活支援総合事業及び生活支援体制整備事業について松戸市の取り組みについての調査に来訪。情報交換しました。

### 2. 役員体制と事務局機能の強化

(1) 役員と事務局スタッフが協力して年間行事を担い企画から運営していく体制を進めることができました。

(2) 事務局は週1回の企画会議、月1回のスタッフ会議で情報共有し各事業部門ごとに責任もって取り組むことができました。

(3) 役員会は三役会で喫緊の課題について討議し隔月の理事会に提案・決議するという流れで運営しました。三役の負担や位置づけの不明確さがあります。

(4) 事務局に新しい人材を投入することはできませんでしたが、非常勤ボランティアの協力を得ることができ事務の負担を軽減できました。

### 3. 赤字体制の脱却を目指しましたができませんでした

(1) 事業部門の強化を目指し、居宅・訪問・通所とも昨年度より実績は延ばしましたが予算には届かずマイナス決算となりました。

(2) 事業の要として通所事業については体制の見直しを行いました但し予定していた営業日追加など大幅にずれ込むことになり思うように売り上げを伸ばすことができませんでした。

### 4. 認定 NPO 法人の第 2 回目の更新が無事終了しました

---